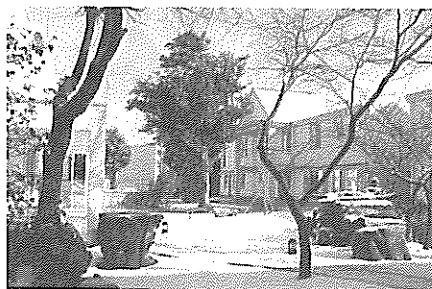


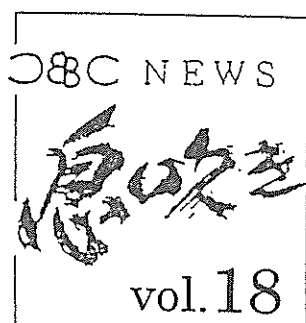
CBC NEWS



「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」(マタイ二八章一九節)
二〇〇〇年は中央聖書神学校創立五〇周年の年でした。この記念すべき年の二月には第二回宣教会議が開かれ、その特別講師として、米国アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の総務局長であるジョージ・ウッド氏が招かれ、基調講演をされ

教団立の神学校

ました。その中で同氏はマタイ二八章一九、二〇節(大宣教命令)こそアッセンブリー教団の不変の使命であることを力説されていました。いよいよ二一世紀に入り、日本アッセンブリー教団のすべての教会がこの大宣教命令に回答すべく、チャレンジを受けています。そして大宣教命令とは、煎じ詰めれば、弟子化であると言え



ました。イエスの弟子をつくること、そのために聖霊に満たされ、そのために聖霊の賜物が現される必要があるのです。その弟子化は全日本民族、全世界のあらゆる民において実現されなければな

りません。そしてこの命令はすべての教会に対してなされているのです。
中央聖書神学校はこのすべての教会の使命遂行のために設立され、今日までその任に励み続けてきました。従って、神学校の働きは決してある特定の人々(学校関係者)のミニストリー(奉仕、働き)ではなく、教団に属するすべての教会のミニストリーなのです。この神学校が教団立であるということは、教団に属するすべての教会立ということでもあります。これまで、この自覚のもとに、祈られ、ささげられ、愛され、支えられたすべての教会の教職、信徒の方々に心から感謝するとともに、これからも一層、中央聖書神学校を共有し、学校のために祈り、ご協力くださるようお願い致します。
梅が咲き始めました。大地のいのち、春の息吹きを予感します。

静心

暖かい春の風に乗って、卒業式の季節がやってきた。旅立つ者も、残る者も、自らの使命を再確認させられる季節である。

ざわめく心のうちに、主は「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」(ヨハネ八章一二節)と語って下さった。

仮庵の祭りの最後の日、エルサレムの神殿の婦人の庭にあった、四つの金の燭台にともされた火、その輝ける光を背に語られた言葉。そしてそれは、イスラエルの荒野の旅を導いた、火の柱を象徴するものであったと言う。その光のもとに人々を導く為に、我々は召し出された。そして、我々も、又その光によって導かれて行く。荒野の旅も祝福の旅。

神の召しに従って、生きる。この決意を新たにさせられる日。
(N.T)

CBC NETWORK

- ・十月二〇日にゴスペル・イン・ザ・ナイト・スペシャルが行われた。
- ・十月三〇日に千葉県にあるマザー牧場に遠足に出かけた。
- ・十一月一四日〜一六日、明石教会の山脇久治師が「弟子訓練」について特別講義をして下さった。
- ・十一月二三日献身者準備会が行われ、献身を志す五名の参加者が神学校を一日体験した。
- ・十二月一日にクリスマス祝会が行われた。
- ・十二月四日に、ルーテル神学校校長である橋本昭夫師が来校され、本校を視察された。
- ・十二月一六日に、大江神学生の奥様、康子姉が召天された。
- ・十二月九日〜一月一九日にわたり、冬期実習が行われた。
- ・十二月二六日に弓山師、教団職員と学校職員、残留神学生が共にクリスマスを祝った。
- ・一月二三日〜三月三日、講師に杉本智俊師、堀川寛師、込尾隆義師、ジョージ・ナガト師を迎え、ブロック・セッション授業が行われた。
- ・一月三十一日に餅つき大会が行われた。
- ・二月一日、日本福音ルーテル東京教会牧師松田繁雄師による「人権と差別」に関する特別講義が行われた。
- ・二月二〇日、二〇〇一年度の入学試験が行われた。
- ・三月二日、卒業夕食会が行われた。
- ・三月六日、第五一回卒業式が挙行され、一〇名の卒業生を送り出された。
- ・一ノ倉豊兄(中央聖書教会)、金木光世姉(神召キリスト教会)の二名が教会奉仕者コースを修了し、修了証書が手渡された。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成期間として発足以来、すでに五〇年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会
会長 山田 亘

後援会入会要領

個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一万元
☆連絡は中央聖書神学校内後援会宛にお願い致します。

編集後記

梅の花もほころび、日々暖かさが増してくる。

澄んだ空気の中、朝の点呼に飛び出す。外に出るといつもの見慣れた友の顔、顔、顔...

その友が、この春、駒込の山を降りて行く。いや、主に遣わされて行くのだ。そしていつか私も同じようにこの山を降りる。主がどんな事をしてくださるかを期待しながら。

大風ぎの時もあるだろう。また嵐がやってくる事も。その時私はどうするのだろうか?

「イエス様が共におられる舟は、どんな嵐が来ても沈まない」
(H)

編集スタッフ

菅原 洋子 内田 信恵
淵上 博子 竹中 範明
山岸よしあ
編集責任者 白石 禎男
事務局 中央聖書神学校
豊島区駒込三二五二〇
FAXTEL 〇三三九二八四九二五
〇三三九二八四〇六四



▲秋の遠足。千葉県マザー牧場。行き先は、その年の楽しみ。

▶毎年恒例の全生誕祝賀。福音をたずさえて、学生一同、施設巡道します。



▲荒川土手で野球 (もどき!?)。みんな彩まみれ。



十月

普段、学生はどんなことをやっているの? 素朴な疑問をよく聞かれます。火曜日からは土曜日は授業、日曜日は教会派遣、月曜は作業・

CBCしゃしん館

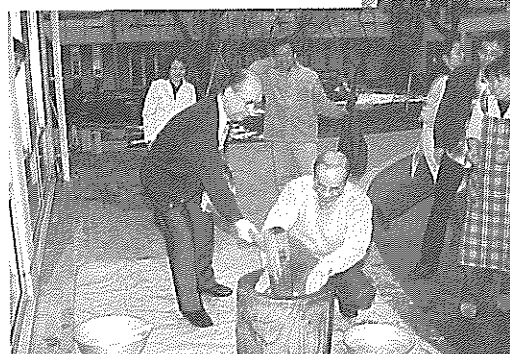
▶クリスマス祝会。礼拝の後、おいしい料理を食べながら、賛美や即興劇などをして、イエス様の誕生を祝います。

▼もちつき大会。先生方の勇ましい姿。この時ばかりは、学生も手の出しようがありません。



十二月

休日。でも写真のように、先生方を交えて、楽しく賑やかに過ごすこともたくさんあります。全行事を、ご紹介できないのが残念!



十一月



▲1日体験入学。学生と授業を受けた後、昼食会。

Congratulations

Congratulations

業

3.6 ございます



井 桁 正 巳
熊 谷 福 音 教 会
任地: 熊谷福音教会

「あなたの天幕の場所を広くし、あなたのすまいの幕を張りひろげ、惜しむことなく、あなたの綱を長くし、あなたの杭を強固にせよ。」(イザヤ五十四章二節) 私はこの御言葉に押し出され神学校に進んで来ました。主は、時には優しく、時には厳しく、私を訓練し導いて下さいました。ここでの訓練が終わり次のステップに進ませて下



酒 井 知 愛 会
神 召 教 会
任地: 讃岐栄光教会

この四年間、主により守られ、多くの方々の祈りに支えられたことを感謝します。この四年間を振り返ってみると、私の神学校生活とは日々神に作り変えら

さる時です。主によって網を惜しむことなく遠くへ伸ばします。私のために祈り献げて下さった方々に心から感謝しています。引き続きお祈りして頂けると幸いです。



若 林 明 子
草 加 神 召 教 会
任地: 草加神召教会

卒業するにあたり、主を誉めたたえ感謝します。

れて、神の御手にどれだけ委ねていくかという訓練の場であったと言える。また、この四年間自分の限界を知り、神の全能の力の大きさを、特に福音の力の偉大さを再確認できました。これからも神に愛されている多くの魂のために神の福音の力だけを信じて聖霊に委ねていきたいです。

神学校生活を送り、自分の足りなさを知れば知るほど主の愛と憐れみを知りました。小さいことですが忠実にできない私を見て失望せず、何度も何度もあきらめずに待っていて下さいました。また、家族や、愛する先生方、教会の方々より霊的に経済的に支えて頂きました。人は一人で生きていくのではなく、キリストを頭とし、愛する方々と共に御国を前進する素晴らしさを学びました。主と愛する方々に「ありがとうございます」を送ります。

Congratulations

Congratulations



簡 井 華 子
あすみが丘福音伝道所
任地: 東京グローリア教会

主を賛美します。諸教会の先生方、兄弟姉妹の篤い祈りと尊い献げものによって三年間支えられたことを心から感謝致します。神学校での学び、訓練、伝道を通して強められた魂への思いと主の使命に忠実に、「天地は滅びるであろう。しかし、わたしの言葉は滅びることがない。」と言われた主の言葉、福音を語り続けていきます。



高 谷 満 世
姫路神愛伝道所
任地: 姫路神愛伝道所

「主は導きをもつて、ここまで支えられた。」これは、私達が二〇〇〇年にキャラバン伝道に行った時、神様が与えて下さった思いですが、本当にここまでの歩みを何度思い返してみても、その通りであつたと思います。

試験の中で、大事なものを全て失うように思えるかもしれないかもしれません、また、実際そうかもしれないですが、主は、その試験によって更なるものを与えて下さいます。主は確かに無きところにも道を造って下さいます。



三 宅 真 嗣
めぐみ福音教会
任地: めぐみ福音教会

キリスト教とはどんな宗教かと問われて、ある牧師は「敗者復活の宗教だ。」



森 下 友 子
明 石 教 会
任地: あすみが丘福音教会

と答えた。自分は失敗者だという前提から神との正しい関係が始まる。私も人に誇ることのできない失敗ばかりの人生だったが、神は私を敗者復活戦に出場させて下さり、フルタイムで福音を伝えることができる栄誉をお与え下さった。セコンドとして声をからして叱咤激励して下さった先生方、神学生、教会員の皆様に心からの感謝の意を表したい。

「神に栄光を帰すために」私の人生を献げようと決心してから一年過ぎようとしている。三年前泣きながら迎えた入学式で、召した者を見捨てることなく導き続けられる神を

思った。今、「復活の朝まで主の業に励み続けるのか。」という語りかけと共にⅠコリント一五章五八節の御言葉を頂いている。この一年の間、祈り支えて下さった愛する先生方、兄弟との、そして誰よりも主イエス様との復活の朝に向かつて再出発できることを感謝しつつ…。

中央聖書神学校学生募集

主の御声を聞いている者よ、来たれ!

入学資格: 受洗後2年以上を経た忠実な教会員

高校卒業以上

住 所: 〒170-0003

東京都豊島区駒込3-15-20

電話番号: 03-3918-4925

入学案内は学校事務所にお申し出下さい。

Congratulations

Congratulations

卒

2001

おめでとう



咲 真 津 石
教会 福音 福 音 会
地 召 神 召 教 会
任 地 任

「主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え、心の傷ついた者をいやすために、わたしを遣わされた」(イザヤ六十一章) 新しい地を前に、大きな期待を抱きつつ、身も心も引き締まる思いです。この三年間で得たすべてを糧として、常に変わらず導き給う主と共に進んでまいりたいと思います。多くの方々に支えられ



子 会 会
朗 教 召 教 会
藤 召 神 召 教 会
加 神 任 地 任

「愛の冷えた時代」という言葉がびったりとは、まるでこの時代である。街を賑わせるのは、青少年凶悪犯罪、幼児虐待、残酷な殺人事件である。この時代にあって、「なぜ、私が召し出され、伝道師となるのか」ということを考えた時

た歩みであったことを今更ながらおぼえつつ、皆様のお祈りと献げ物を、心からお礼申し上げます。



子 会 会
幸 福 音 教 会
高 鳴 尾 純 福 音 教 会
任 地 任 八 戸 の ゑ み 教 会

主の御名を崇めます。「永遠の命に至る食物のために働きなさい。」とこの小さな者を召し出し、三

に、改めて「今こそ、神の愛が人々の心に必要」という神からの迫りを受けずにはいられない。「今は、恐れなくて語り続けなさい。この町には、わたしの民がたくさんいるから。」と語って下さる神様に期待して、卒業致します。



年の学びを守り導いて下さった主に心から感謝致します。またこの間、先生方、兄弟姉妹や家族など、多くの人の祈りによって支えられ、卒業のこの日を迎えられたことを感謝致します。いよいよ働き場へと出て行くこうとしていますが、主の御心、主の御言葉に従い続け、期待を持ってイエス・キリストに私の生涯を捧げていきたいです。